

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-282499

(43)公開日 平成8年(1996)10月29日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 2 B 3/00

B 6 2 B 3/00

D

A 4 7 B 31/06

A 4 7 B 31/06

B 6 2 B 5/00

B 6 2 B 5/00

L

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平7-111236

(22)出願日 平成7年(1995)4月12日

(71)出願人 000187208

昭和飛行機工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目13番12号

(72)発明者 小島 裕

東京都昭島市田中町600番地 昭和飛行機  
工業株式会社内

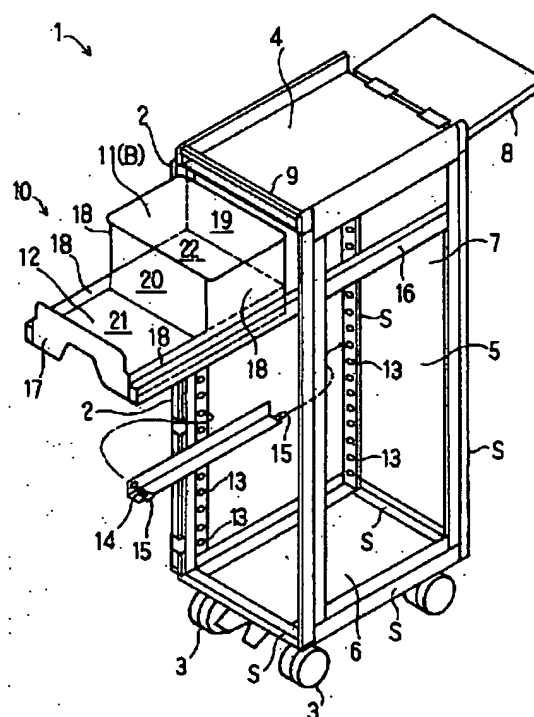
(74)代理人 弁理士 合志 元延

(54)【発明の名称】 物品販売用のサービスカート

(57)【要約】

【目的】 第1に、室内寸法が広く取れ、物品用ドロア一部の寸法・大きさにも余裕ができ、販売用の物品の収納量が増加し、第2に、使用部品が減少し構造も簡略化され、コスト面にも優れ、第3に、サイン用のテーブル下にスベア部品等を収納可能で便利な、物品販売用のサービスカートを提案する。

【構成】 このサービスカート1は、箱状をなしドア2とキャスター3を備え、収納した物品の販売サービスに供される。そして、物品を収納する物品用ドロア一部と、上位に配されカードの読み取り機を収納する引き出し式の上部ドロア10と、上部ドロア10上に取付けられた、レシートへのサイン用のテーブル11と、を有してなり、テーブル11は、上部ドロア10の床面12との間に間隔を存しつつ揺動可能に水平の軸で取付けられ、横姿勢に位置決めされた常時位置Bと上方に展開された開放位置とに、変位可能となっている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 箱状をなしドアとキャスターを備え、内部に物品を収納して該物品の販売サービスに供される、物品販売用のサービスカートであって、該物品を収納する物品用ドロアー部と、該物品用ドロアー部の上位に配されカード読み取り機を収納する引き出し式の上部ドロアーと、該上部ドロアー上に取付けられたレシートサイン用のテーブルと、を有してなり、該テーブルは、該上部ドロアー床面との間に間隔を存しつつ、揺動可能に水平の軸で取付けられており、横姿勢に位置決めされた常時位置と、上方に展開された開放位置とに、変位可能となっていること、を特徴とする物品販売用のサービスカート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、物品販売用のサービスカートに関する。すなわち、例えば航空機内において物品の販売サービスに供される、物品販売用のサービスカートに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】この種の物品販売用のサービスカートは、箱状をなしドアとキャスターを備えると共に、内部に物品を収納すべく、引き出し式の物品用ドロアー部を備えている。ところで、最近のこの種サービスカートにあっては、このような物品用ドロアー部の上位に別途、クレジットカード等のカード読み取り機を収納する引き出し式の上部ドロアーが、付設されたタイプのものも見られる。そして、このようにカード読み取り機やその収納用の上部ドロアーを備えた、この種サービスカートにあっては、更に、付随して発行されるレシートへのサイン用のテーブルを引き出し式に付設してなるものも多い。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、このような従来例にあっては、次の問題が指摘されていた。第1に、この種の物品販売用のサービスカートは、上述したように物品用ドロアー部上に、読み取り機用の上部ドロアーとサイン用のテーブルとを、それぞれ単独の引き出し式にて付設していたので、その分、室内寸法が狭くなるという指摘があった。つまりその分だけ、室内寸法が狭くなり、物品用ドロアー部の寸法・大きさが制限され、販売用の物品の収納量が少なくなる、という問題が指摘されていた。第2に、同様に上部ドロアーとテーブルとを、それぞれ単独の引き出し式にて付設していたので、それぞれ専用のガイドレールの付設、収納空間の形成を要する等、その分、使用部品が多く構造も複雑化しコスト高となる、という問題も指摘されていた。

【0004】本発明は、このような実情に鑑み、上記従来例の問題点を解決すべくなされたものであって、読み取り機用の上部ドロアー上にサイン用のテーブルを、揺

動可能に一体化したことにより、第1に、室内寸法が広く取れると共に、第2に、コストを抑えることができ、第3に、更にサイン用のテーブル下に収納スペースも確保できる、物品販売用のサービスカートを提案することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】この目的を達成する本発明の技術的手段は、次のとおりである。すなわち、この物品販売用のサービスカートは、箱状をなしドアとキャスターを備え、内部に物品を収納して該物品の販売サービスに供される。そして、該物品を収納する物品用ドロアー部と、該物品用ドロアー部の上位に配されカード読み取り機を収納する引き出し式の上部ドロアーと、該上部ドロアー上に取付けられたレシートサイン用のテーブルと、を有してなる。そして該テーブルは、該上部ドロアー床面との間に間隔を存しつつ、揺動可能に水平の軸で取付けられており、横姿勢に位置決めされた常時位置と、上方に展開された開放位置とに、変位可能となっている。

## 【0006】

【作用】本発明は、このような手段よりなるので、次のように作用する。このサービスカートは、物品用ドロアー部に収納された物品の販売サービスに供される。そして物品販売に際しては、代金決済のため、カードの読み取り機の例えばスキャナーが、引き出された上部ドロアーから取出されて使用されることになる。その際、付随して発行されたレシートへのサインが必要となるが、このサインは、上部ドロアー上に横姿勢の常時位置に位置決めされたテーブルを利用して、実施される。

【0007】そこで、この物品販売用のサービスカートは、第1に、読み取り機を収納する上部ドロアー上に、レシートへのサイン用のテーブルを揺動可能に取付け、一体化してなるので、その分、室内寸法が広く、物品用ドロアー部の寸法・大きさに余裕ができ、物品の収納量が増加する。第2に、このように読み取り機用の上部ドロアーにサイン用のテーブルを取付け一体化してなるので、その分、使用部品が減少し構造も簡略化される。第3に、更にサイン用のテーブル下の上部ドロアー内を、収納スペースとして活用でき、スベア部品等を収納可能であり便利である。

## 【0008】

【実施例】以下本発明を、図面に示すその実施例に基づいて、詳細に説明する。図面は本発明の実施例を示し、図1は全体の斜視説明図、図2、図3はその要部を示す。そして図2の(1)図は、テーブルが常時位置にある状態の斜視図、図2の(2)図は、テーブルが開放位置にある状態の斜視図であり、図3の(1)図は、テーブルが常時位置にある状態の平面図、図3の(2)図は同側面図である。

【0009】この物品販売用のサービスカート1は、図

3

1に示したように、箱状をなしドア2とキャスター3を備え、内部に物品（図示せず）を収納して、この物品の販売サービスに供される。すなわち、このサービスカート1は、例えば航空機の機内や新幹線等の車内の客室内等において、乗員が乗客に対し各種の物品を販売するサービス用に使用され、販売される物品としては、例えば、免税品たるタバコ、酒類、香水、時計、アクセサリ等々が考えられる。そして天板4、両側板5、床板6、背面板7、ドア2等を備え、これらが上下、前後、左右の各コーナー型材Sに組み付けられた箱状をなし、床板6の四隅下にキャスター3が付設され、押して移動される。そして両側板5、背面板7、ドア2等は、物品販売用であることに鑑み、透明のプラスチック板等が用いられており、外部から内部の物品が透視可能となっている。なお図1中、8は付設された折曲テーブル、9は取手である。

【0010】そして、このサービスカート1は、図1に加え図2、図3にも示したように、物品を収納する物品用ドロアー部と、この物品用ドロアー部の上位に配され、カードの読み取り機Aを収納する引き出し式の上部ドロアー10と、上部ドロアー10上に取付けられた、レシートへのサイン用のテーブル11と、を有してなる。このテーブル11は、上部ドロアー10の床面12との間に間隔を存しつつ、揺動可能に水平の軸で取付けられており、横姿勢に位置決めされた常時位置Bと、上方に展開された開放位置Cとに、変位可能となっている。

【0011】これらについて、更に詳述する。まず、図1中13はビス穴であり、このビス穴13は、上下間の各コーナー型材Sの内面に、それぞれ所定間隔で縦に多数列設されている。そして左側および右側について、それぞれ、前後の見合った高さレベルの適宜ビス穴13間に、ガイドレール14が掛け渡されビス15を利用して取付け固定されており、ガイドレール14は、左右1対で上下に適宜数（1本でも可）取付けられる。そして、このような左右のランナーたるガイドレール14間に、物品を収納する透明のプラスチック製の物品用ドロアー部が、スライドして出し入れ自在な箱状の棚として配されている。なお物品用ドロアー部は、このような引き出し式のものに限定されることなく、ガイドレール14上に固定された単なる棚として構成してもよく、更に、ガイドレール14を最下段にのみ設け、このようなガイドレール14上に固定されることにより、その上に広い収納空間を形成する態様で用いることも可能である。

【0012】そして上部ドロアー10は、天板4直下に、左右のガイドレール16を利用し、スライドして出し入れ自在に配されている。図示の上部ドロアー10は、床面12と、床面12の端縁にそれぞれプロテクト用に立設された、取手兼用の前面17と、前面17より低目の前部および高目の後部よりなる両側面18と、高

4

目の背面19と、を備えてなり、前部と後部間に仕切板20が設けられている。もって、この上部ドロアー10は、全体的には、上面が開放された浅い箱状の前部室21と、同じく上面が開放されたやや深い箱状の後部室22と、からなっており、後部室22が常時位置Bのテーブル11にて閉鎖されるようになっている。そして、この上部ドロアー10の前部室21に、読み取り機Aが収納されるが、図3に示したように、読み取り機Aが手前側に、読み取り機AのスキャナーEが奥側のクッション23上に、それぞれ収納される。図3中Fは、読み取り機AとスキャナーE間のコードである。

【0013】さて、このような上部ドロアー10の後部室22上に、これを開閉可能に、レシートへのサイン用のテーブル11が取付けられている。すなわちこのテーブル11は、後部室22を形成する上部ドロアー10の背面19上端に、2個のヒンジ24にて、水平の軸で上下に揺動可能に取付けられている。もってテーブル11は、図1、図2の(1)図、図3の(1)図、(2)図等に示したように、上部ドロアー10の後部室22を形成する両側面18の後部上や仕切板20上に当接して、水平の横姿勢に位置決めされた常時位置Bと、図2の(2)図に示したように、上方に展開され、上部ドロアー10の後部室22を開放する開放位置Cとに、変位可能となっている。又、このようにサイン用のテーブル11にて開閉可能とされた後部室22内には、図3に示したように、読み取り機Aのスペア部品たるバッテリーGやロール紙Hが区画収納される。

【0014】本発明は、以上説明したように構成されている。そこで以下になる。このサービスカート1は、箱状をなしドア2とキャスター3を備えると共に、物品用ドロアー部に物品を収納し、もって、このように内部に収納された物品の販売サービスに供される。そして物品販売に際しては、引き出された物品用ドロアー部から物品が取出されると共に、代金決済のため通常は、クレジットカードその他のカードの読み取り機Aの例えばスキャナーEが、引き出された上部ドロアー10の前部室21から取出されて、使用されることになる。そしてその際、付随してレシートが発行され（このレシートは、読み取り機Aの使用に伴い発行される場合のほか、読み取り機Aを使用しない場合に、代わりに発行される場合も考えられる）、このレシートへのサインが必要となるが、このサインは、前述により引き出された上部ドロアー10の後部室22上に取付けられ、横姿勢の常時位置Bに位置決めされたテーブル11を利用して、実施される。なおサイン終了、代金決済後は、読み取り機AのスキャナーEを収納した上部ドロアー10は、常時位置Bのテーブル11と共に、天板4下のサービスカート1内に押し込み収容される。さてそこで、この物品販売用のサービスカート1にあつては、次の第1、第2、第3のようになる。

5

【0015】第1に、このサービスカート1は、読み取り機Aを収納する上部ドロアー10の背面19上に、レシートへのサイン用のテーブル11を揺動可能に取付け、一体化してなる。つまり、前述したこの種従来例のように、読み取り機A用の上部ドロアー10とサイン用のテーブル11とを、それぞれ単独の引き出し式にて付設するのではなく、上部ドロアー10にテーブル11を一体化してなるので、その分、サービスカート1の室内寸法が広く、物品用ドロアー部の寸法・大きさにも余裕ができ、物品の収納量が増加する。

【0016】第2に、これと共にこのサービスカート1は、上述の第1で述べたように、読み取り機A用の上部ドロアー10にサイン用のテーブル11を、揺動可能に取付け一体化してなるので、その分、これらをそれぞれ単独の引き出し式に付設してなる前述したこの種従来例に比し、使用部品が減少し構造も簡略化される。

【0017】第3に、更にこのサービスカート1にあっては、サイン用のテーブル11下の上部ドロアー10内を、収納スペースとして活用でき、読み取り機Aのスペア部品、その他各種の部品等を収納可能であり、便利である。すなわち、上部ドロアー10の後部室22は、サイン用のテーブル11にて開閉されるようになっており、図示例では内部に、バッテリーGやロール紙H等の読み取り機A用のスペア部品が収納されている。そして、上部ドロアー10をサービスカート1から引き出した後、テーブル11をそれまでの横姿勢の常時位置Bから、図2の(2)図に示したように、上方に縦に展開した開放位置Cへと変位させることにより、上部ドロアー10の後部室22に収納されたスペア部品のバッテリーGやロール紙H等を取出すことができる。そして、取出されたバッテリーGやロール紙Hは、読み取り機Aに装填、交換され、テーブル11は、事後上部ドロアー10の後部室22を開放する開放位置Cから、これを閉鎖する元の常時位置Bへと倒される。

【0018】

【発明の効果】本発明に係る物品販売用のサービスカートは、以上説明したように、読み取り機用の上部ドロア

6

ー上にサイン用のテーブルを、揺動可能に一体化したことにより、次の効果を発揮する。

【0019】第1に、室内寸法が広く取れるようになる。すなわち、この物品販売用のサービスカートは、前述したこの種従来例に比し、室内寸法が広く取れるので、その分、物品用ドロアー部の寸法・大きさにも余裕ができ、販売用の物品の収納量が増加する。

【0020】第2に、これと共にコストを抑えることもできる。すなわち、この物品販売用のサービスカートは、前述したこの種従来例に比し、使用部品が減少し構造も簡略化される等、コスト面にも優れている。

【0021】第3に、更にサイン用のテーブル下に、収納スペースが確保される。すなわち、この物品販売用のサービスカートにあっては、サイン用のテーブル下の上部ドロアー内に、収納スペースが確保され、スペア部品その他各種の部品等を収納でき、便利である。このように、この種従来例に存した問題点が一扫される等、本発明の発揮する効果は、顕著にして大なるものがある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る物品販売用のサービスカートの実施例を示す、斜視説明図である。

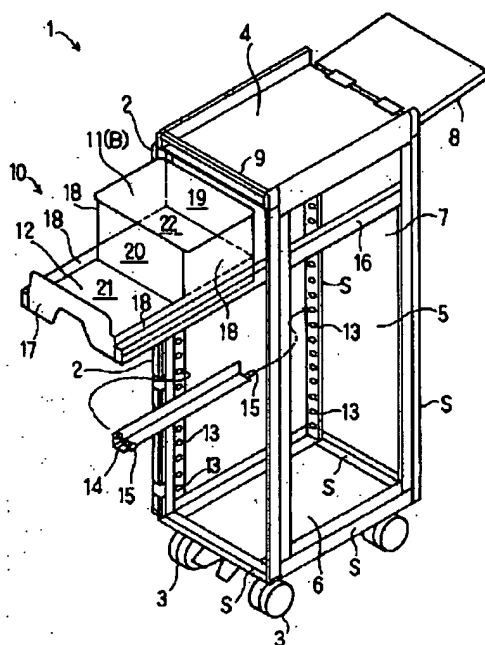
【図2】同実施例の要部の斜視図であり、(1)図は、テーブルが常時位置にある状態を、(2)図はテーブルが開放位置にある状態を示す。

【図3】同実施例の要部を示し、(1)図は、テーブルが常時位置にある状態の平面図、(2)図は同側面図である。

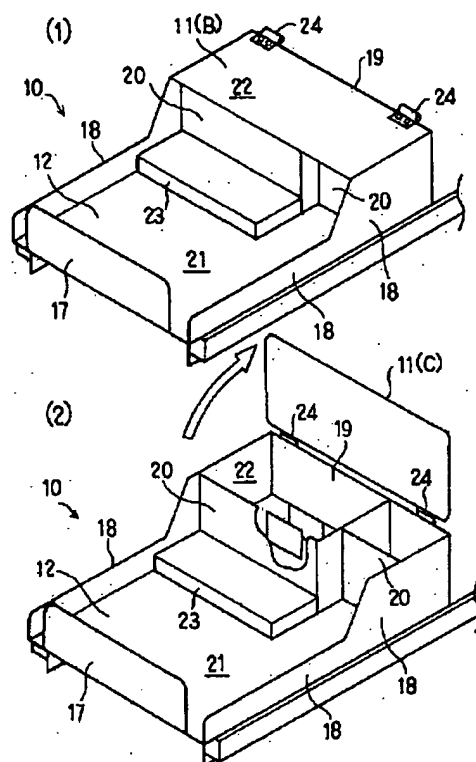
【符号の説明】

- 1 サービスカート
- 2 ドア
- 3 キャスター
- 10 上部ドロアー
- 11 テーブル
- 12 床面
- A 読み取り機
- B 常時位置
- C 開放位置

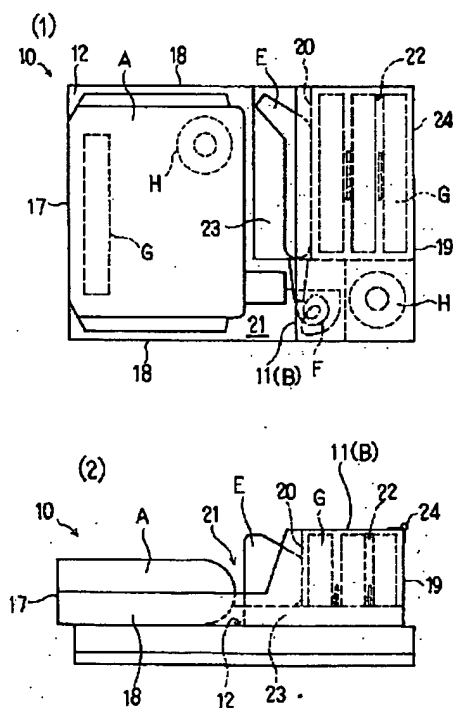
【図1】



【图2】



【图3】



DERWENT-ACC-NO: 1997-016703

DERWENT-WEEK: 200146

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Servicing cart for articles of aircraft - has upper drawer provided with table which is possible to displace to open position from constant position in horizontal direction

----- KWIC -----

Title - TIX (1):

Servicing cart for articles of aircraft - has upper drawer provided with table which is possible to displace to open position from constant position in horizontal direction

Standard Title Terms - TTX (1):

SERVICE CART ARTICLE AIRCRAFT UPPER DRAWER TABLE  
POSSIBILITY DISPLACE OPEN  
POSITION CONSTANT POSITION HORIZONTAL DIRECTION